

団 体 概 況 書

団 体 名	特定非営利活動法人 ほっとねっと		代表者氏名	伊藤 満	
住 所	〒630-8133 奈良市大安寺 1-23-1 県解放センター 2階				
設 立 年 月 日	2002年3月24日	会 員 数	64人	職 員 数	0人
活 動 内 容	<p>「人権を生活に根付かせる」、「人権の時代へ、私たちがフロンティア」を合い言葉に、2002年3月に設立、以後、下記のような取り組みを行っている</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの育ちを支える「ひーとびーとの森」管理、運営 2. 人権に関する研修会、ワークショップの企画・研究・実施 3. パソコン、インターネットを人権の視点から利用するための支援 4. 人権博物館のガイド 				
過 去 の 実 績	<p>(上記1.「ひーとびーとの森」関係を中心に)</p> <p>2002年 3/24 法人設立 6/28 法人登記完了、正式発足 7/7 「ひーとびーとの森」開設・オープニングセレモニー 7/27 「ひーとびーとの森」キャンプ&ミーティング 8/25、31 森の工作教室 12/1 「ひーとびーとの森」クリスマスリース作り 12/8 第5回人権ウォークで清掃活動(生駒郡)</p> <p>2003年 1/26 森の新年会 5/24 森の管理棟完成を祝うミーティング&キャンプ 6/21 2003年度総会、ホテル観賞 7/6 森のキャンプ講習会 7/18 箕面市のプレイパークを見学 8/10 「ひーとびーとの森」森の夏遊び</p>				
当 事 業 団 からの 助 成 実 績	実績ありに○をつけた団体のみ記載してください。				
	年度	基金名	特別分・地方分	事業名	
あり・ <u>なし</u>					
(どちらか一方に○をつけてください。)					

要 望 額 調 査

1. 要 望 額

総事業費 A	寄付金その他の 収入額 B	差引所要額 (A - B) C	助成金所要額	備 考
円	円	円	千円	
1,184,000	208,000	976,000	976,000	

内訳 = 自己資金 150,000
参加費 84,000 (10^名 × 15人 × 12回)

2. 積算内訳

経費区分	支出予定額	内 訳
1 諸謝金	100,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会講師謝金 1人 × 20,000円 × 2回 = 40,000円 ・PLM-7指導者謝金 1人 × 20,000円 × 3回 = 60,000円 * 12回のうち3回、専門知識が乏しいに依頼
2 旅 費	310,000	<ul style="list-style-type: none"> ・会場32名の旅費(270円) 10人 × 2,000円 × 15回 = 300,000円 ・学習会会場32名の旅費(講師) 1人 × 2,000円 × 5回 = 10,000円
3 所 費	770,000	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ印刷費 (呼称不明用紙 - 105 - 500部) 5,000枚 × 20円 = 100,000円 ・PLM-7印刷用紙消費品 — 493,500 10 50,000円 × 12回 = 600,000円 (印刷用紙、F25、377材料、文身、 麻薬用紙、救急医療局、食料 等) ・報告書作成費 500円 × 100冊 = 50,000円 ・学習会会議費 5,000円 × 3回 = 15,000円 ・通信費 — 5,000円 (100 × 25 80 × 100)
合 計	1,180,000 円	

事業計画書

事業名	プレイパーク・イン・ヒーとびーと		
団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと	助成金 要望額	976千円
事業の目的	<p>私たちは、日々目まぐるしく変化する社会環境の中で、子ども達が、生きるために必要な力をつける機会を奪われているのではないかと考えています。このような生きる力を再生する場として、「自分の責任で、自由に遊ぶ」ことをテーマとして各地で始まっている「プレイパーク（冒険遊び場）」作りの取り組みに注目していますが、奈良県内ではまだあまりこのような問題意識は成熟していません。そこで当 NPO が管理運営する「ヒーとびーとの森（森）」で、モデル的な取り組みとして月 1 度くらいのペースでプレイパークをはじめてみることにしました。私たちの「森」は、自然環境が豊かで、様々な遊びや体験をするのに最適の場所です。この取り組みを通して、県内の子ども、そして子どもと関わる指導者のネットワーク作りを寄与したいと考えています。</p>		
事業の内容	<p>1. プレイパーク・イン・ヒーとびーと</p> <p>① 概要 上記のような目的を達成するため、当 NPO が榛原町八滝に賃借し、管理運営する「ヒーとびーとの森」で、月 1 回程度（年間 10～12 回）のペースで、プレイパークを開催。</p> <p>② 予定人数 一般募集により、小学生以下の子どもとその保護者合計 30 人程度で開催。内容により外部講師を依頼する。</p> <p>③ 開催時期、開催場所 基本的に月 1 回、奈良県宇陀郡榛原町八滝の「ヒーとびーとの森」</p> <p>2. プレイパーク指導者の学習、交流会</p> <p>① プレイパークを育て、地域に根付かせることを目的に、指導者養成のための学習会や交流会を実施。</p> <p>② 予定人数 約 20 人程度（プレイパークに関わる大人や、県内児童館、子ども会等に呼び掛け）</p> <p>3. プレイパーク実践報告書を作成</p> <p>① 目的・対象 報告書を作成することにより、「プレイパーク（冒険遊び場）」の魅力を同じような問題意識をもっている人々に広めるとともに、各地域における実践の参考事例とする。</p> <p>② 時期 4 月～12 月のプレイパークの実践、学習会、交流会のまとめとして 2004 年 3 月末を目処に約 100 部を作成。県内の児童館、子ども会等に配付。</p>		
期待される効果	<p>この「プレイパーク・イン・ヒーとびーと」を行うことにより、</p> <p>① 子どもの「遊び」の重要性を関係者が認識し、各地域で同様の取り組みを広げていくことにつながる。</p> <p>② プレイパークについて、理論面、実践面で関係者のスキルアップをはかることができる。</p> <p>③ 子ども同士、親同士、指導者同士の関係を深め、相互支援、ネットワーク作りにつながる。等の効果が期待できる。</p>		

要 望 額 調 査

1. 要 望 額

総事業費 A	寄付金その他の 収入額 B	差引所要額 (A - B) C	助成金所要額	備 考
円 1,180,000	円 204,000	円 976,000	千円 976,000	

└─ 内訳 = 自己資金 150,000 円、

参加費 54,000 円 (15 人 × 12 回 × 300 円)

2. 積 算 内 訳

経費区分	支出予定額	内 訳
1 諸謝金	円 100,000	○ 学習会講師謝金 1 人 × 2 回 × 20,000 円 = 40,000 円 ○ プレイパーク指導者謝金 1 人 × 3 回 × 20,000 円 = 60,000 円 ※ 12 回のプレイパークの内 3 回を 自然観察や遊びに関して専門知識 のある人を招いて開催します
2 旅 費	円 310,000	○ 学習会講師旅費 1 人 × 2 回 × 2,000 円 = 4,000 円 ○ プレイパーク指導者旅費 1 人 × 3 回 × 2,000 円 = 6,000 円 ○ 事務局活動旅費 10 人 × 15 回 × 2,000 円 = 300,000 円
3 所 費	円 770,000	○ プレイパーク実施に関わる諸経費 593,500 円 (内訳は別紙) ○ チラシ印刷費 5000 部 × 20 円 = 100,000 円 ○ 学習会会場借料 3 回 × 5,000 円 = 15,000 円 ○ 報告書作成費 100 部 × 500 円 = 50,000 円 ○ 通信費 案内送付 100 箇所 × 80 円 = 8,000 円 報告書送付 25 箇所 × 140 円 = 3,500 円
合 計	円 1,180,000	

年間スケジュール表

法人名 (団体名) 特定非営利活動法人ほのねと

	平成16年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業実施内容	<p>「山菜とりとアザミ取」 第1回アザミ取</p> <p>「スズメ」 第1回アザミ取</p>	<p>「おつむいも通え」 第2回アザミ取</p> <p>「サヤガサリ」 第3回アザミ取</p> <p>・大人の学習・夜校会と ホクモ観賞</p>	<p>「おつむいも通え」 第4回アザミ取</p>	<p>「工作に挑戦」 第5回アザミ取</p>	<p>「森の里和会」 第6回アザミ取</p>	<p>「春をみつめよ」 第7回アザミ取</p>
事業実施内容	<p>「おつむいも通え」 第8回アザミ取</p>	<p>「家庭会」 第9回アザミ取</p>	<p>「おつむいも通え」 第10回アザミ取</p> <p>・学習・夜校会</p>	<p>「もちつき大会」 第11回アザミ取</p>	<p>「福寿草委員会」 第12回アザミ取</p>	<p>「総括会議報告会」 第13回アザミ取</p>

※ 報告書の作成

※ 助成対象期間は平成16年4月～平成17年3月までです。

諸費、プレイパークに関わる諸費用の内訳

- 食材費 $1000円 \times 25人 \times 12回 = 300000円$
※プレイパークは午前10時頃から午後4時頃までの開催となるため、昼食を「ひーとびーとの森」で自炊することになりますので、そのための食材費です。子ども達がたき火やかまどで食事を作ることも、プレイパークの一環として重要な活動だと考えています。
- 救急医療品費 $2000円 \times 3セット = 6000円$
○写真フィルム、現像費 $3000円 \times 12回 = 36000円$
○紙、文具費 $2000円 \times 12回 = 24000円$
- 第1回/
アマゴ放流魚（稚魚、成魚） $100円 \times 500匹 = 50000円$
運送費 $10000円$
- 第2回/
さつまいもの苗 $500円 \times 20束 = 10000円$
園芸用品（移植ごて、肥料等） $1000円 \times 5 = 5000円$
- 第3回/
キイチゴ採取用雑貨（手袋、籠等） $1000円 \times 15 = 15000円$
- 第4回/
魚釣り用具 $2000円 \times 15 = 30000円$
- 第5回/
工作用材料 $2000円 \times 15 = 30000円$
- 第8回/
写生用材料（画用紙、絵の具等） $1000円 \times 15 = 15000円$
- 第9回/
クリスマスリース用材料費 $2000円 \times 15 = 30000円$
- 第10回/
もち米 $5000円$
うす、きね等借上 $10000円$
- 第11回/
プログラム、パンフレット作成 $200円 \times 15 = 3000円$
会場・備品借上 $7000円$
- 第12回/
自然観察用雑貨（ルーペ等） $500円 \times 15 = 7500円$

合計 $593500円$

助成事業の実施体制

団体名 特定非営利活動法人 ひとねと

事業名 70歳以上-7 インクルーシブと事業

助成事業の全体の取りまとめ

役職名 理事長
氏名 伊藤 義

助成事業担当者 (事業団との連絡担当者)

氏名 北場好美

担当する助成事業の内容

事業全体の宣伝、関係者との調整

助成事業担当者

氏名 古川 政也

担当する助成事業の内容

70歳以上-7 全体のコーディネート

助成事業担当者

氏名 北花 芳博

担当する助成事業の内容

学習会・交流会の設定、実施
報告冊子の作成

経理担当者

氏名 杉本美穂

注) この用紙で不足する場合は、同様の様式で作成のうえ添付してください。

別紙3

平成17年度助成金収支決算書

種目	区分	予算額 A	決算額 B	差引過不足額 B-A	備考
		円	円	円	
収入					
助成金収入		976,000	976,000	0	
参加費		54,000	24,000	-30,000	
一般会計より		150,000	0	-150,000	
利息収入		0	4	4	
計		204,000	24,004	-179,996	
支出		円		円	
諸謝金		100,000	80,000	-20,000	
旅費		310,000	251,400	-58,600	
所費		770,000	576,524	-193,476	
計		1,180,000	907,924	-272,076	

平成17年3月31日

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

代表者

伊藤 満

追加して
下さい

報告書と同じ日付で
↑ お願いです

平成 17 年 4 月 20 日

独立行政法人福祉医療機構
理事長様

奈良県奈良市大安寺 1-23-1
特定非営利活動法人ほっとねっど
理事長 伊藤 隆



平成 16 年度 独立行政法人福祉医療機構助成金「地方分」の一部^書変換^{返還}について

標記の件について、事業計画^書所に基づき「プレイパーク・イン・ヒーとびーと事業」を実施してきましたが、下記の理由により支出額に変更が生じたため、助成金受入額 976000 円に対して差引所要額が 888920 円となりました。

つきましては、差額分の 92080 円を返還します。

<返還理由>

- ・ 諸謝金のうち、プレイパーク指導者謝金が、予定していた講師が来れなくなったため 1 人×1 回分不要になったため。
- ・ 旅費が予算作成時の単価より実際の支給額が低かったため。
- ・ 所費のうち、食材費がいただきものが多かったため、予算よりも少ない額の支出になったため。

様式 3



地方 分	高齢者・障害者	手法1・手法2・ <u>手法3</u> ・
	子育て	手法4・手法5・手法6・
	障害者スポーツ	手法9・手法10・手法11

平成17年3月31日

独立行政法人福祉医療機構 理事長 殿

〒630-8133

住所 奈良県奈良市大安寺1-23-1

名称 特定非営利活動法人 ぽんとねと

代表者 理事長 伊藤 満



平成16年度助成事業完了報告書

下記のとおり、助成事業が完了したので別紙関係書類を添えて報告します。

1 事業名 フォレイパーク・イン・ムービーズと事業

2 助成金精算額 金 907,924 円

3 所要額精算書 (別紙1)

883,920円

4 事業実績報告書 (別紙2)

助成金所要額を記載して下さい

5 収支決算書 (別紙3)

6 成果物 事業報告書 (別紙)

担当者 所属 ぽんとねと 事務局 (NEP)

氏名 寺前 美加

電話 0742-64-0015

FAX 0742-64-1640

※この様式は、日本工業規格A4とすること。



東京テレビで放映されたものの静止画像です。
 座談会にはお目通りで森の様子を紹介して
 いただきました。お礼の旨にアール・オー・エルのホームページで書きました。

第7回・第8回「しゃべり場・榛原」討論内容と出演者

テーマ「自然環境を活かしたまちづくり」

タイトル「忘れていませんか? わがまちの素晴らしい自然環境を」

【討論内容】

- ◇ まちの自然・環境を再認識
- ◇ 産業廃棄物の問題と条例制定
- ◇ 里山や森林の再生
- ◇ 自然にやさしい農業のあり方
- ◇ 自然環境を活かしたまちづくりとは?
- ◇ クライマーや温泉客のリピーターをどう増やしていくか

【出演者】

(順不同・敬称略)

氏名	タイトル	プロフィール
大澤正昭 おおさわまさあき	榛原町議会議員	議会の環境対策特別委員会委員を務める。
三神邦夫 みかみくにお	日本昆虫学会会員	元銀行マン。21世紀初頭の榛原町に生息する蝶の標本とデータを残そうと活動中。
秋元貴代子 あきもときよこ	「健康はいばら21」 委員	ボランティアたんぼぼの会など、保健福祉や国際交流など幅広い分野で、まちづくりに取り組む。2003年の女性模擬議会の副議長。
石田祐一 いしだゆういち	「産業廃棄物阻止・ 室生ダムの水質を守る会」副会長	天満台の産廃問題で住民運動を展開、条例制定にこぎつける。榛原町をはじめ宇陀の自然環境をこよなく愛し、積極的に活動中。
桑原誠人 くわはらまこと	「株陽光ファーム21」 代表取締役	30年にわたり、野菜の有機栽培、お米のカモ農法など消費者との対話を通じた自然にやさしい農業を実践。政府主催の「環境型保全農業」第4回コンテストの奈良県代表。
伊藤 満 いとうみつる	NPO 法人「ほっとね っと」代表	八滝の森林を再生しながら、子どもたちの冒険遊び場「ひーとびーとの森」活動を展開中。

【収録】 2005年3月6日(日) 平成榛原子供のもり公園 森の館 研修室

11:00 集合

12:00～13:00 第7回分 撮影

13:15～14:15 第8回分 撮影

【放送予定】 第7回 2005年3月15日(火) 16日(水) 正午～ 午後9時～

第8回 同 3月22日(火) 23日(水) 正午～ 午後9時～



昭文社 マップルマガジン
「お手軽 アウトドア
関西05-06年版」

に紹介されました！

別紙3

平成17年度助成金収支決算書

区分 項目	予算額 A	決算額 B	差引過不足額 B-A	備考
	円	円	円	
収入				
参加費	54,000	24,000	-30,000	
一般会計より	150,000	150,000	-150,000	
利息収入	0	4	4	
計	204,000	174,004	-179,996	
支出				
諸謝金	100,000	80,000	-20,000	
旅費	310,000	251,400	-58,600	
所費	770,000	576,524	-193,476	
計	1,180,000	907,924	-272,076	

平成17年3月31日

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

代表者 伊藤 満



助成事業完了報告書と
同じ団体印で
お願いします

別紙2

事業実績報告書

追記して下さい

<p>事業名</p>	<p>プレイパーク・イン・ヒーとびーと 事業</p>		
<p>事業の実施状況</p>	<p>○子どもに「生きる力」をつける場としての「自分の責任で、自由に遊ぶ」をテーマとする「プレイパーク(冒険遊び場)」の奈良県内でのモデル的な取り組みとして、奈良県宇陀郡榛原町八滝の「ヒーとびーとの森」で2004年4月から2005年3月までの月に1回(原則として第3日曜日)、計12回プレイパークを開催し、子どもと大人(保護者・引率者)あわせて平均25人が集まり、スタッフやボランティア手作りのフィールド・アスレチックやクライミング・ウォールなどの遊具で自由に遊んだほか、敷地に沿って流れる川で釣りをしたり、薪割り・育苗・料理体験や、講師を招いて生き物観察や工作、音楽会および楽器体験を行うなど、季節に応じたプログラムを毎回行った。</p> <p>○プレイパークを育て、各地域に根づかせることや、子どもに「生きる力」をつけさせるために必要なさまざまなことを、大人が相互に学び合うことを目的に、ワークショップ形式の学習会を12月22・23日に、「居場所のない子どもたちが充電できる場所」と題した講演会形式の学習会と交流会を3月11日に開催した。</p> <p>○プレイパークの魅力を広く伝え、各地域での実践の参考事例にしてもらうために、プレイパーク実践、学習会・交流会のまとめとして報告書を三月末に作成、子育てサークル、学校PTA、児童館、公民館などに配布した。</p>		
<p>事業の成果</p>	<p>○初めのころは自由遊びも各種体験もぎこちない動きだった子どもたちが、回を重ねるにつれて自主性・創造性を身につけ、体力や知識も向上するなど目に見えて成長していった。また森へ来ることによって、住む地域の違う子ども同士が知り合うこととなり、大人も巻き込んで交流の輪を広げていくことができた。</p> <p>○年間を通じた継続的な取り組みをすることにより、プレイパーク開催を検討中の子育て支援グループなどにとっての参考事例となることができた。</p> <p>○学習会を開催することにより福祉、環境教育、スポーツ、健康増進など他の領域の指導者にプレイパークの理念を広めることができ、相互支援・ネットワークの基礎を築くことができた。</p> <p>○テレビや雑誌などメディアに取り上げられることになり、幅広い層にプレイパークの意義や魅力、今日的な子育ての課題を問題提起することができた。</p>		
<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ほっとねっと</p>	<p>助成金精算額</p>	<p>976千円</p>

助成金所要額を記入して下さい(円単位)

別紙1

所要額精算書

1. 精算額

総事業費 A	寄付金その他 の収入額 B	差 引 所 要 額 (A-B)C	助 成 金 所 要 額 D	助 成 金 交 付 決 定 額	助 成 金 受 入 額 E	差引過△ 不 足 額 (E-D)F
円	円	円	円	円	円	円
907,924	24,004 174,000	883,920 733,924	883,920 733,924	976,000	976,000	92,080 242,076

2. 積算内訳

寄付金その他の収入

区 分	交付決定額	収 入 額	内 訳
参加費収入	54,000	24,000	大人のべ80人×300円
一般会計からの 繰入金	150,000	150,000 ⁰	自己資金
雑収入		4	利息収入 ← 2月 通帳を 確認して 下さい
合 計	204,000 円	174,000 ⁰ 24,004 円	

総事業費

経 費 費 目	交付決定額	支 出 額	内 訳
1 諸 謝 金	100,000	80,000	別紙 内訳書のとおり
2 旅 費	310,000	251,400	別紙 内訳書のとおり
3 所 費	770,000	576,524	別紙 内訳書のとおり
合 計	1,180,000 円	907,924 円	

(参考様式)

平成16年度「地方分」助成事業の概要

基金名	子育て支援基金
テーマ	1
団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと
所在地	奈良県奈良市大安寺1-23-1
HPアドレス	http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html
事業名	プレイパーク・イン・ヒーとびーと
事業概要	子どもの「生きる力」再生のため、奈良県宇陀郡榛原町八滝にある冒険遊び場「ヒーとびーとの森」で「自己責任で自由に遊ぶ」がモットーの「プレイパーク」を月に1回開催。スタッフ手作りのフィールドアスレチックやクライミング・ウォールなどの遊具で自由に遊ぶほか、釣り、育苗、工作、楽器あそび、料理、薪割り、自然観察、水遊びなど季節に応じたプログラムも毎回提供。また「プレイパーク」の考え方を広め、根づかせるために学習会・交流会を開催。

担当者連絡先

(氏名) 寺前 美加

(住所) 奈良県奈良市大安寺1-23-1

(TEL) 0742-64-0015

(FAX) 0742-64-1640

(ケイタイ) 090-8233-9172

平成16年度長寿・子育て・障害者基金助成事業に係る自己評価書

基金名	1. 長寿社会福祉基金 3. 子育て支援基金	2. 高齢者・障害者福祉基金 4. 障害者スポーツ支援基金
助成区分	3. 地方分	
助成金額	千円	
団 体	住 所	〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
	名 称	特定非営利活動法人 ほっとねっと (HOT NET)
	代 表 者	理事長 伊 藤 満 印
	電 話 番 号	0742 - 64 - 0015
	FAX 番 号	0742 - 64 - 1640
	メー ル ア ド レ ス	hotnet@billnara.jp
	自 己 評 価 書 作 成 者	寺 前 美 加
事 業 名	プレイパーク・イン・いとびーと	
事 業 手 法	手法3：研修会、講習会を開催	

- (注) 1. 基金名については、該当する番号に○を付してください。
2. 代表者印は、必ず押印してください。

【手法3：研修会、講習会を開催】

次の問1～問11の設問に関し、当該事業が、⑤～①の水準のうちどれに該当するかについて、それぞれの問の記入上の注意をよく読んで上で選択して、該当する番号を右の口内に記入するとともに、その回答を選択した根拠をカッコ内に必ず記入してください。

なお、根拠の記述については、できるだけ具体的に記入するとともに、必要に応じ資料を添付してください。

問1 研修会等の開催に関して、組織体制・実施体制は適切でしたか

3

- ⑤極めて高い水準であった。
- ④高い水準であった。
- ③普通の水準であった。
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 事務局としての経験が残り、ことに危機感を持ち、毎回スタッフ10人体制をなんとか維持する努力をし、知人等の協力を得て実現せられた。実施も開催日をからが月も

(記入上の注意) あつたが、回数も維持できた。

⑤に該当する場合

- ・外部の有識者等を含めた検討委員会を組織して十分に検討し、今までの経験を活かして当初計画以上に十分な体制を組み、非常に円滑かつ適切に実施できた場合

④に該当する場合

- ・当初計画を上回る十分な体制を組むことができ、適切に実施できた場合

③に該当する場合

- ・組織体制については特に問題もなく、当初計画どおり適切に実施できた場合

②に該当する場合

- ・一部について体制が不十分な部分があり、事前の準備や当日の事業実施に若干支

①に該当する場合

- ・十分な体制を組むことができず、事業実施に多大の支障を生じた場合

問2 研修会等の開催時期・期間(日程)及び会場は適切でしたか

5

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった。
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 毎月第3日曜というのは、子どもも予定は入らないが、スタッフ体制も維持できるのに問題はなかった。会場は満足度の高いものを提供できたと思う。

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・外部の有識者等を含めた検討委員会で十分検討したため、開催時期・日程、会場ともに極めて適切であり、盛況で大成功だった場合

④に該当する場合

- ・開催時期・日程、会場については、当初予定していた以上に好評だった場合

③に該当する場合

- ・開催時期・日程及び会場のいずれについても、特に問題なかった場合

②に該当する場合

- ・開催時期・日程または会場のいずれかに問題があり、事前の準備や当日の事業実施に若干支障を生じた場合

①に該当する場合

- ・開催時期・日程及び会場のいずれにも問題があり、事業実施に多大の支障を生じた場合

問3 研修プログラムの内容（テキスト・研修方法等）は適切でしたか

3

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 季節に応じて、基礎から初体験してもらつては、
 最適なプログラムを用意できたと思う

（記入上の注意）

⑤に該当する場合

- ・外部の有識者等を含めた検討委員会を組織し、講師、テキスト執筆等から十分に討したため、テキスト、研修方法ともに極めて適切であり、かなり好評な結果に評判がよかった場合

④に該当する場合

- ・テキスト、研修方法ともにニーズに合って適切であり、当初予想していたよりも好評だった場合

③に該当する場合

- ・テキスト、研修方法のいずれについても、特に問題なかった場合

②に該当する場合

- ・テキスト又は研修方法のいずれかに問題があり、当日の事業実施に支障を生じた場合

①に該当する場合

- ・テキスト及び研修方法のいずれにも問題があり、事業実施に多大の支障を生じた場合

問4 講師の選定は適切でしたか

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 子どもの講師は、わかりやすく親しみやすい人を
基準に適切な人を選んだ。1人予定していた講師
に都合で来てもらえなかったのか残念である。

大人向けには、その分野で人気があり、経験豊富で
情熱のある高レベルの人に来てもらった。

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・検討委員会で、研修内容に精通している専門家の選定について十分検討したため、講師の選定は極めて適切であり、知識や技術の向上につながったと非常に評判がよかった場合

④に該当する場合

- ・研修内容に精通している専門家で、話術も巧く、意見交換の場や事例報告も交え、わかりやすかったと評判がよかった場合

③に該当する場合

- ・適切な講師が確保でき、特に問題なかった場合

②に該当する場合

- ・研修内容の一部について、予定していた（受講者が求めていた）内容・水準の講義ができる講師を確保できなかった場合

①に該当する場合

- ・今回の研修では、予定していた（受講者が求めていた）内容・水準の講義をできる講師を確保できなかった場合

問5 狙いとする階層からの受講者を確保できましたか

5

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 保育園児、小学生といった一歳児から小学生
までの子どもたちで目録やカードを使った活動が
通っていた。アイスブレイク活動した中では、園児が
参加はもつてくれたが、小学生は参加しなかった。

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・狙いとした階層の人々を中心として、目標を大きく上回る受講者が得られ、大盛況だった場合（当初〇〇人予定→実績〇〇人も記載）

④に該当する場合

- ・狙いとする階層の人々を中心として、目標をやや上回る受講者が得られた場合（当初〇〇人予定→実績〇〇人も記載）

③に該当する場合

- ・狙いとする階層ばかりではなかったが、概ね計画どおりの参加が得られた場合
(当初〇〇人予定→実績〇〇人も記載)

②に該当する場合

- ・受講者は多かったが、狙いとする階層からの受講者は少なかった場合
- ・狙いとする階層からの受講者はあったが、全体的に受講者が少なかった場合
(考えられる理由と受講者数(当初〇〇人予定→実績〇〇人)も記載)

①に該当する場合

- ・全体的な受講者も少なく、ねらいとする階層からの参加は得られなかった場合
(考えられる理由と受講者数(当初〇〇人予定→実績〇〇人)も記載)

問6 受講者に対し、その評価を確認するための措置を講じましたか

2

- ⑤受講者を対象に評価を確認するための措置を講じ、その結果を事業に反映させた
- ④受講者を対象に評価を確認するための措置を講じた
- ③近日中に、受講者の評価を確認するための措置を講じる予定である
- ②受講者の評価を確認する措置を講じるかどうか、検討中である
- ①特に予定はない

更問 上記で、⑤、④又は③を選択した団体にお聞きします。その講じた(講じる予定の)措置の内容は、次のどれですか。該当するものに○を付してください。
ア. アンケート調査 イ. 聞き取り調査 ウ. その他()

注 ⑤又は④を選択した場合、調査結果をまとめた資料を必ず添付してください。

問7 問6で、⑤又は④を選択した団体にお聞きします。受講者からどのような評価を受けましたか

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠

.....

.....

.....

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・多くの受講者から、これまでの研修会等や他団体の研修会等と比べて非常に優れていて、知識や技術を十分取得することができたと高く評価された場合

④に該当する場合

- ・多くの受講者から、知識や技術の習得に役立ち、予想以上に有意義だったと評価された場合

③に該当する場合

- ・多くの受講者から「参加してよかった」との一般的な評価を受けた場合
- ②に該当する場合
 - ・一部の受講者からは、研修内容や研修方法等について、不満足あるいは批判的な意見があった場合
- ①に該当する場合
 - ・内容等に不満足あるいは批判的な意見が多く、不評だった場合

問8 事業に関する事務処理・経理処理はどうでしたか

2

- ⑤交付申請書については、手引きを十分に読んで記入したため不備もなく、期限より早く提出でき、その結果資金交付も早く受けることができたこと、かつ、他会計との区分、専用通帳の整備、経費の適切な支払い等の会計処理や帳簿等の整備も万全で、完了報告書等も期限を守って提出できた
- ④交付申請書は期限までに提出でき、またその内容について機構から問い合わせはあったが特に不備もなく、他会計との区分、専用通帳の整備、経費の適切な支払い等の会計処理や帳簿等の整備も適切に行え、完了報告書等も期限を守って提出できた
- ③交付申請書は期限までに提出できたが若干不備があり、機構から指摘を受けて修正した以外は、他会計との区分、専用通帳の整備、経費の適切な支払い等の会計処理や帳簿等の整理もでき、完了報告書等も期限を守って提出できた
- ②提出書類に不備はなかったが、交付申請書や完了報告書等の提出期限を守れなかった、あるいは提出期限は守ったが、内容的に不備が多く、機構から何度も指摘を受けた
- ①他会計との区分、専用通帳の整備、経費の適切な支払い等の会計処理や帳簿等の整備が適切に行えなかった場合、あるいはどの書類も提出期限を守れず、内容的にも不備が多く、機構から何度も督促や指摘を受けた

問9 今回の事業を振り返って、当初の事業目的をどの程度達成できたと評価しますか

4

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠 ^卒 倉川の子どもたち、保護者、引継者やスタッフなど
 現場関係者の問題意識が予想していた層以上に
 高まった。地域にプレイパークの理念、意義を伝える
 ということも、継続性を持つことにより反響が各層から
 あり、モデルとしての役割も果たせたように思う。

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・研修内容や研修方法等について、検討委員会で講師と事務局等が十分協議し、演習やディスカッションの場を設けるなど工夫したため、受講者の反響も極めてよく、知識や技術を十分習得させることができたなど、当初の目的を大きく上回る成果があったと評価できる場合

④に該当する場合

- ・受講者の反響もよく、予定していた以上に習得させることができたなど、当初の目的を上回る成果があったと評価できる場合

③に該当する場合

- ・特に問題もなかったため、概ね予定どおり習得させることができたなど、ほぼ予定どおり当初の目的は達成できたと評価できる場合

②に該当する場合

- ・研修のレベルと受講者のレベル、または受講者同士のレベルに開きがあり、習得不十分の受講者も少なくなかったなど、当初の目的を下回る結果であったと思われる場合

①に該当する場合

- ・質問も少なく不評で、受講者に十分習得させることができなかったなど、当初の目的をほとんど達成できなかったと思われる場合

問10. 今回の事業を振り返って、費用に見合う事業効果を上げられましたか。

- ⑤極めて高い水準であった
- ④高い水準であった
- ③普通の水準であった
- ②不十分又は不満足な水準であった
- ①極めて不十分又は不満足な水準であった

根拠

費用を十分に有効に使ったことは反省しているが、使った費用とその効果は予想以上のものだった。

(記入上の注意)

⑤に該当する場合

- ・投じた費用に対し、期待を大きく上回る事業効果を上げることができ、相応的な費用支出であった場合

④に該当する場合

- ・投じた費用に対し、期待を上回る事業効果を上げることができ、効率的な費用支出であった場合

③に該当する場合

- ・投じた費用に見合う期待した事業効果を上げることができ、相応な費用支出となった場合

②に該当する場合

- ・投じた費用に対し、期待した事業効果を上げることができず、非効率な費用支出

になってしまった場合

①に該当する場合

- ・投じた費用に対し、期待を大きく下回る事業効果しかあげることができず、大変非効率な費用支出になってしまった場合

問 1 1 次年度は、今回実施した事業をどのように進めていく予定ですか

5

- ⑤ 今回の成果を活かし、事業規模や対象地域を拡大または事業内容を充実・発展させ、事業を継続して実施するとともに、成果の普及に努める予定である
- ④ 今回の成果を活かし、事業を継続して実施するとともに成果の普及に努める予定である
- ③ 今回の成果と問題点を踏まえ、一部規模を縮小して事業を実施するとともに、成果の普及に努める予定である
- ② 単年度事業のため事業そのものは実施しないが、成果の普及に努める予定である
- ① 継続して実施したいが、事業内容や財源、体制等事業実施上の問題点があるため、次年度は事業を実施しない予定である

⑤の場合は事業の拡大または充実・発展内容と成果の普及方法、④の場合は成果の普及方法、③の場合は縮小する分野と成果の普及方法、②の場合は成果の普及方法、①の場合はその問題点を記入してください。

スタッフの人数、賃をさらに充実させる。今年度は有償ボランティアや現場指導者が大半だが、学生ボランティアも増やしたい。お礼の品も検討中。器具やテキストなどの購入も検討中。予備の備えも検討中。

更問 上記で、⑤、④または③を選択した団体にお聞きします。事業を継続して実施するために事業資金の財源確保をどのように行う予定ですか。該当するものはすべて教えてください。（複数回答可）

- ア. 団体の一般会計繰入金（会費収入を含む。）
- イ. 寄付金・奨励金収入
- ウ. 事業に伴う参加費収入
- エ. 行政、社協等からの支援
- オ. その他収入（ ）

その他

1. 次の点について特筆すべきことがあれば、具体的にご記入ください。

(1) 本事業が団体の組織に与えた影響 (ex. 組織の活性化や人材の育成につながった、法人格を取得した等)

- 他の団体との相互支援の必要性を認識し、今まで以上にネットワークの強化に重点を置くようになった。
- 定期開催あることから、そろそろ恒期的なスタッフミーティングが週に1度の定期的なものとなり、中身は不十分なものだが、運営の一歩の体制の基礎固めができた。◦ 有給スタッフを雇って運営

(2) 事業実施中に出てきた新たな発想の芽、予想していなかった効果等

- 保護者など大人も料理や工作、遊戯に子ども以上に興味を示し、熱心な体験しようという意気込みが伺えた。このことから、大人にもやさしい場、ほめる場、場を提供するという発想も必要ではないかと感じられた。◦ 地元ケアテレビや雑誌への掲載、所おこしや観望会など、意外な面から注目された。

(3) 本事業を実施するに当たり困難だった点や問題となった点

- 夏休みなどは人集めが容易だが、冬期は遠のき、広報・宣伝もゆきどから苦労した。事業開始前から講師を募集することが難しく、また新たに人材を募集して選定を行うこともあった。広報の面でもきつかった。教材や道具など、事前には選定のミーティングなどで済ませ、一人のスタッフに任せたりし物事も多かったのは反省すべき点に挙げられた。会計処理方法をスタッフ間にも周知徹底させる、不備が同定された。

2. 今回の事業を実施した上での総括的な感想、今後の事業展開に関する構想などを
ご自由にご記入ください。

チラシ配付などの広報活動が、早い時期に
始められたこと、後半に入って地道な
声かけなどが不十分で、各場面に人が集まり
にくいということが課題とみた。当日に向けて
の準備や、当日への人員配置も十分に精一杯
だったように思う。もう少しホーミングエリア
の人数を増やあとし、今年度交流が滞り
ないようにするためのXメディアを連ねる。会場は
一層Xメディアを利用した広報活動を
展開していきたい。

また、冒険遊び場のあふれ元の人と
もっと交流して、活動に参加し
ようとする素地づくりに努めたい
と思っている。

子どもが自尊心を培い、生き生きと
活躍させる、ということのために、活動の
楽しさや楽しさの保障をしっかりと
今回の事業で、子どもたちのための活動の楽しさを
楽しく参加してくれたいと、活動の楽しさを
再生」ということも視野に入れた企画をもっと
増やしていきたいと 10 思っている。

自己評価結果の確認

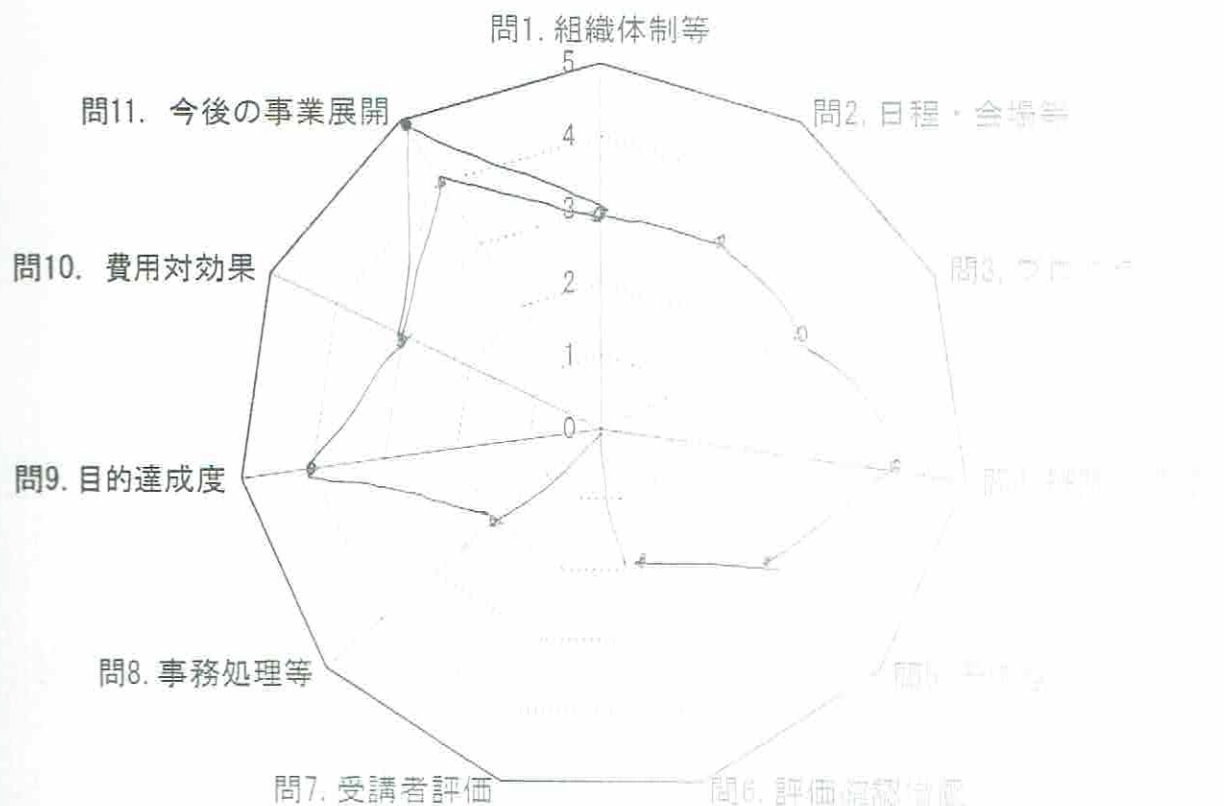
～すべては次の事業計画のために～

※全ての記入が終わりましたら、記入した回答番号をもとに、最後にレーダーチャートを描いてみましょう。

レーダーチャートを記入することによって、どの項目はよくできているのか、どの項目が不十分だったのか、はっきりしてきます。

不十分な項目については、どうすれば改善できるのか検討してみてください。

自己評価レーダーチャート（研修会等を開催）



地方分	高知県・徳島県 香川県 愛媛県	平成1・平成2・平成3・ 平成4・平成5・平成6・ 平成9・平成10・平成11
-----	-----------------------	---

平成17年3月31日

独立行政法人福祉医療機構 理事長 殿

〒630-8133

住所 奈良県奈良市大宮町1-23-1

名称 特定非営利活動法人「手心ねこ」

代表者 理事長 平塚 洋 郎

平成16年度助成事業完了報告書

下記のとおり、助成事業が完了したので別紙関係書類を送付いたします。

- 1 事業名 フォレイパーク・イン・ひまわり公園
- 2 助成金精算額 金 907,924 円
- 3 所要額精算書 (別紙1)
- 4 事業実績報告書 (別紙2)
- 5 収支決算書 (別紙3)
- 6 成果物 事業報告書

担当者	所属
	氏名
	電話番号
FAX	

※この様式は、日本工業規格A4とすること。

支出額内訳書

経費費目	交付決定額	支出額	支出額内訳(実績)
1 諸謝金	100,000 円	80,000	○学習会講師謝金 1人×2回×@20000円=40000円 ○プレイパーク指導者謝金 2人×1回×@10000円=20000円 1人×1回×@20000円=20000円
2 旅費	310,000	251,400	○学習会講師旅費 1920円×460円=2880円 ○学習会・交流会事務局活動費 10260円×7960円=18220円 ○プレイパーク指導者旅費 1860円×1680円×140円=444720円 ○プレイパーク事務局旅費 225860円 (10人×1840円 11回 10人×1000円 1回)
3 所費	770,000	576,524	○チラシ印刷費(5000部) 99750円 ○学習会会場借料 3000円×3200円=9600円 ○報告書作成費 100000円 ○通信料(案内書送付) 50箇所×@80円=4000円 72箇所×@80円=5760円 ○プレイパーク実施記録 360814円 (明細) 実費 97001円 任意取物品費 5992円 写真現像費 30780円 紙、文具等 1524円 ソフトウェア等 1500円 図書関係 5000円 印刷費 10000円 送料等 10000円 その他 10000円 合計 360814円 ○印刷費 30000円 ○紙、文具等 1524円 ○ソフトウェ- 1500円 ○図書関係 5000円 ○印刷費 10000円 ○送料等 10000円 ○その他 10000円

別紙1

所要額精算書

1. 精算額

総事業費 A	寄付金その 他の収入額 B	差 引 所 要 額 (A-B)C	助 成 金 所 要 額 D	助 成 金 交 付 決 定 額	助 成 金 受 入 額 E	差引過△ 下 足 額 (E-D)F
円	円	円	円	円	円	円
907,924	174,000	733,924	733,924	976,000	976,000	242,076

2. 積算内訳

寄付金その他の収入

区 分	交付決定額	収入額	内 訳
参加費収入	54,000	24,000	大人の～80人 100円
一般会計からの 繰入金	150,000	150,000	自己資金
合 計	204,000 円	174,000 円	

総事業費

経 費 費 目	交付決定額	支出額	内 訳
1 諸 謝 金	100,000	80,000	70000円
2 旅 費	310,000	251,400	210000円
3 所 費	770,000	576,524	480000円
合 計	1,180,000 円	907,924 円	

事業実績報告書

事業名	プレイパーク・イン・ひーとびーと		
事業の実施状況	<p>○子どもに「生きる力」をつける場としての「自分の責任で、自由に遊ぶ」をテーマとする「プレイパーク(冒険遊び場)」の奈良県内でのモデル的な取り組みとして、奈良県宇陀郡樟原町大塚の「ひーとびーとの森」で2004年4月から2005年3月までの月に1回(原則として第3日曜日)、計12回プレイパークを開催し、子どもと大人(保護者・引率者)あわせて平均25人が集まり、スタッフやボランティア手作りのフィールド・アスレチックやクライミング・ウォールなどの遊具で自由に遊んだほか、敷地に沿って流れる川で釣りをしたり、薪割り・育苗・料理体験や、講師を招いて生き物観察や工作、音楽会および楽器体験を行うなど、季節に応じたプログラムを毎回行った。</p> <p>○プレイパークを育て、各地域に根づかせることや、子どもに「生きる力」をつけさせるために、必要なさまざまなことを、大人が相互に学び合うことを目的に、ワークショップ形式の学習会として22・23日に、「居場所のない子どもたちが充電できる場所」と題した講演会形式の学習会と音楽会を3月11日に開催した。</p> <p>○プレイパークの魅力を広く伝え、各地域での実践の参考事例にしてもらうたが、プレイパーク実践、学習会・交流会のまとめとして報告書を三月末に作成、子育てセンター、公民館、A、児童館、公民館などに配布した。</p>		
事業の成果	<p>○初めのころは自由遊びも各種体験もぎこちない動きだった子どもだったが、プレイパークを通じて自主性・創造性を身につけ、体力や知識も向上するなど目に見えて成長が著しくなってきたこと、これまでへ来ることによって、住む地域の違う子ども同士が知り合うこととなり、地域間の交流の輪を広げていくことができた。</p> <p>○年間を通じた継続的な取り組みをすることにより、プレイパーク開催のノウハウや運営のノウハウなどについての参考事例となることができた。</p> <p>○学習会を開催することにより福祉、環境教育、スポーツ、健康増進など幅広い分野でプレイパークの理念を広めることができ、相互支援・サポートの輪が広がってきた。</p> <p>○テレビや雑誌などメディアに取り上げられることにより、幅広い層にプレイパークの魅力を伝え、今日的な子育ての課題を問題提起することができた。</p>		
団体名	特定非営利活動法人 ほっとなっと	助成金精算額	976千円

別紙3

平成17年度助成金収支決算書

種目	区分	予算額 A	決算額 B	差引過不足額 B-A	備考
収入		円	円	円	
参加費		54,000	24,000	-30,000	
一般会計より		150,000	150,000	0	
計		204,000	174,000	-30,000	
支出		円	円	円	
諸謝金		100,000	80,000	-20,000	
旅費		310,000	251,400	-58,600	
所費		770,000	576,524	-193,476	
計		1,180,000	907,924	-272,076	

平成17年3月31日

団体名 特定非営利活動法人 日本赤十字社

代表者 理事長 伊藤 剛

(参考様式)

平成16年度「地方分」助成事業の概要

基金名	子育て支援基金
テーマ	1
団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと
所在地	奈良県奈良市大安寺1-23-1
HPアドレス	http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html
事業名	プレイパーク・イン・ヒーとびーと
事業概要	子どもの「生きる力」再生のため、奈良県宇陀郡榛原町八幡にある冒険遊戯場「ヒーとびーとの森」で「自己責任で自由に遊ぶ」がモットーの「プレイパーク」を月に1回開催。スタッフ手作りのフィールドアスレチックやクレーンゲームウォールなどの遊具で自由に遊ぶほか、釣り、育苗、工作、楽器作り、調理、薪割り、自然観察、水遊びなど季節に応じたプログラムも毎回開催。また、「プレイパーク」の考え方を広め、根づかせるために学習会・交流会を開催。

担当者連絡先

(氏名) 寺前 美加

(住所) 奈良県奈良市大安寺1-23-1

(TEL) 0742-64-0013

(FAX) 0742-64-1640

Eメール 090-8233-7171

支出額内訳書

経費費目	交付決定額	支出額	支出額内訳(実績)
1 諸謝金	100,000 円	80,000	○学習会講師謝金 1人×2回×@20000円=40000円 ○プレイパーク指導者謝金 2人×1回×@10000円=20000円 1人×1回×@20000円=20000円
2 旅費	310,000	251,400	○学習会講師旅費 1920円+460円=2380円 ○学習会・交流会事務局宿泊旅費 10260円+7960円=18220円 ○プレイパーク指導者旅費 1860円+1680円+1400円=4940円 ○プレイパーク事務局旅費 225860円 (10人分18840円×11回 10人分18820円×1回)
3 所費	770,000	576,524	○チラシ印刷費(500部) 99750円 ○学習会会場借料 3000円+3200円=6200円 ○報告書作成費 100000円 ○通信料(案内書送付) 50箇所×@80円=4000円 72箇所×@80円=5760円 ○プレイパーク実施に関わる旅費 360814円 (明細) 食費 97601円 救急医療品費 5900円 写真現像費 12760円 紙、文具費 15248円 サツマイモの産 8185円 園芸用品(土・肥料など) 15000円 キイチゴ 手袋 1570円 キイチゴ 籠 7980円 自然観察用品 6800円 釣り具 20580円 工作用紙(カラー) 10000円 電池用 材料・検の具など 18000円 クラスター・コース用印刷費 16000円 手紙代 5000円 1人・おね管代 10000円 マヤロ 50000円 マヤロ運送費 6000円